

# 民主化支援交流in四国!

## JR四国労組との民主化支援単組間交流で

### 仙台地本が高松訪問・高知で気合を注入

5月8～10日にかけて、仙台地本添田事務局長他4名と本部菅野委員長が、JR連合民主化支援交流行動としてJR四国労組とJREユニオン仙台地本の交流会を開催しました。

訪問先JR四国労組からは、中濱委員長をはじめ島田副委員長、浦川業務部長、幸教宣部長、眞鍋書記長、そして笹岡青女議長から歓迎を受け、訪問者との交流の中でJR東日本の民主化や組織拡大に向けた意見交換を行いました。



### 民主化闘争の現状と組織情勢の現況について、意見交換を実施!

仙台地本からは、添田事務局長が組合員数や地本内での活動状況と活動の課題等について、厳しい中で取り組んでいる現状を報告した。また、職場内での大量退職に伴う要員問題や技術継承の遅れなどについても報告があった。

JR四国労組からは、眞鍋書記長より四国会社の経営現状や設備投資の厳しさの中で、労使が協力して取り組んでいるとの報告があった。

また、四国新幹線の話も出て、新幹線が走っていないのは四国だけとの話から、希望を具現化していきたいなどの話もでた。

民主化闘争については、革マルの潜り込みを防ぐ若手の勉強が大切であるとし、こういった交流や国鉄経験の先輩との交流も一つの教育であるとして、今後も力を入れていくなどと、民主化当該単組とは違った観点からの運動づくりが紹介された。

次回は、仙台の地に迎えて交流できることを願い、民主化支援交流を終えました。



**国鉄改革の完遂は、すべてのJR関係労働者の信頼性の回復と、その先にある安心な職場である**